

“正しい情報選択の方法”を学んで

Q 影響を受けた本は？

幼少時から読書は趣味の一つです。この1、2年で面白かったのは、宮本輝『灯台からの響き』・林真理子『小説8050』・桜木紫乃『俺と師匠とテールボーイとストリップ』・鴻上尚史『鴻上尚史のほがらか人生相談』・伊集院静『大人の流儀シリーズ』・原田マハ『リボルバー』でしょうか。

特に宮本輝『灯台からの響き』からは、人生は小さな秘密と、ささやかな幸せの積み上がりで成り立っていることを感じました。ミステリーと読後感の良い作品が好みです。

Q 仕事に就いたきっかけは？
実は医学部に入る前、北海道

教育大学札幌分校小学校教員養成課程心理学科に、1年半通いました。共通一次試験第1回受験世代です。中央区南22条キャンパスでした。

当時の先輩や同級生は、教育者になる覚悟を強く持って学んでいました。私も、私にそこの考えもなく入学しました。

2年生になって自分のやりたことは何かを真剣に考え、医学の道に進路変更をしました。高校時代は文系だったので、受験ではずいぶん苦労しました。父親も小児科医をしておりましたので、結果的には後を継ぐ形になりました。

Q 仕事上で大切にしている「こと」は？

現在は小児科医として、地域の子どもの健康を守る立場です。職業柄でしょうか、「最悪の事態を想定すること」は、普段から心がけています。

同じ病気でも、子どもの場合は急速に状態が悪化する場合があります。悪くなる可能性がある患者さんには、早めの病院紹介を心がけています。

また、自分が経験したことだけでは対処できない場合も想定されますので、常に新しい・正しい情報を得るために、書籍を読み、講演会・学会にも積極的に参加しています。医師仲間との情報交換も大事な機会です。

札幌市医師会副会長の立場です。他科の医師たちから

も、いろいろな意見や要望を聞く機会も増えました。医療というインフラを、俯瞰的な視野で見ることが重要さも強く感じることになりました。

Q 思い出す学校風景は？

教育大時代、軽音楽サークル「フォークイン」で先輩のバンドに入れてもらい、下手な歌を懸命に歌っていました。バレーボールコート横の、木造平屋の部室で練習をしたり、飲み会があったり、音楽論を戦わせたりと、熱い時を過ごしました。今でも懐かしく思い出します。

Q 気になる教育ニュースは？

生気だつた私を、ためちやんと呼んでくれて、可愛がってくれた先輩たちもいました。ありがたいことに、今でも数人の先輩たちとは、お付き合いいただいております。

また、授業以外の時間帯に、動画サイト等に長時間、制限なくアクセスすることは、子どもの知的成長を妨げ、情緒不安定、ネット依存症にもつながります。

紙の教科書の利点も生かしながら、年齢に応じたデジタル機器との上手な付き合い方が、課題になると思います。

子どもたちが、「端末画面の中に世の中のすべてがある」と感じてしまうことには、非常に強い危機感を持っています。

Q マイブーム・趣味は？

高校時代から歌を続けていて、現在もヴォイストレーニングに通っています。ジャズやポピュラーのスタンダード、日本の曲もレッスンしています。コロナ禍前までは、年に1回のライブもやっていました。

家庭内では娘の希望で数年前から猫を飼い始め、今では3匹の猫たちと静かに暮らしています。家の中にかわいい動物がいるのは、生活に張りが出ます。



癒やしの猫 ふーちゃん

デジタル教科書の普及には、関心を持っています。新型コロナの影響で、リモート授業が普及し、子どもたちが学習用端末を持つことになりました。長時間のデジタル画面の視聴は、視力低下・斜視の増加などの健康被害が懸念されています。

また、授業以外の時間帯に、動画サイト等に長時間、制限なくアクセスすることは、子どもの知的成長を妨げ、情緒不安定、ネット依存症にもつながります。

紙の教科書の利点も生かしながら、年齢に応じたデジタル機器との上手な付き合い方が、課題になると思います。

子どもたちが、「端末画面の中に世の中のすべてがある」と感じてしまうことには、非常に強い危機感を持っています。

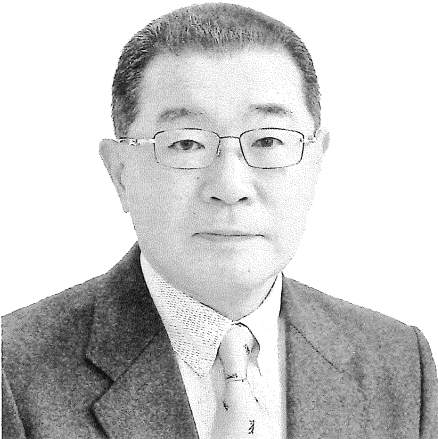
Q 子どもたちに一言

今の社会は、私たちが過去に経験したことがない、非常に多くの情報にさらされています。テレビ、新聞、雑誌、インターネット、口コミ等、毎日情報のるつぼの中で暮らさなければなりません。

まずは、「正しい情報を選択する方法」を、しっかりと学ぶことです。それには自分自身の継続的な勉強も重要です。

いろいろな場面での正しい、冷静な情報選択は、正しい思考と対話、それに続く正しい行動につながるはずですよ。

次回は、札幌市博物館活動センターの古澤仁学芸員です。



札幌市医師会 副会長
円山ため小児科 院長
多米 淳 医師

【ため あつし】
昭和62年杏林大医学部卒業。北海道大小児科で免疫不全症・アレルギー疾患の研究・診療に従事。その間、日本初の試み「ADA欠損症」に対する遺伝子治療のスタッフとして参加。平成13年10月「円山ため小児科」開院。札幌市立円山小・日新小等の校医。札幌市学校保健会・会長。
医学博士。日本小児科学会専門医、日本アレルギー学会専門医。
昭和35年生まれ、62歳。札幌市出身。